

私たちが…

めざすもの

京都市など関係機関や団体と協調して、青少年の自主的な活動を支援します。

成長への支援

ユース・サービスの理念に基づいて、青少年が主体的に社会の一員として参画していくよう成長していくことを支援するための事業を行います。

連携と機会づくり

地域の青少年団体とも連携してボランティアや指導者の発掘と養成を行い、資質の向上を図るとともに、そうして育成した人材が各地域・団体等で活躍するための機会づくりを行っていきます。

私たちが…

できること

- ユース・サービスを実現するための資源と手法の提供
- 人（支援者・指導者・ボランティア）・情報・施設・プログラム・スキル・指導者養成・協働・連携のためのコーディネート

私たちが…

求めるもの

地域・学校・団体・グループなど、青少年を支える想いと多くの力が必要です。



私たちと
“パートナーシップ”
を築きたいと願っています。

沿革

(財)京都市ユースサービス協会は京都市の青少年施策を「ユース・サービス」に転換させた時に生まれた京都市ユース・サービス委員会(1974～1988年)を発展的に解消し、誕生した財団です。

1988年4月、京都市の青少年活動の拠点的施設である、青少年活動センターのオープンを機に財団化、同センターの運営をスタート。

1996年に青少年育成計画に基づき、3年をかけて市内7カ所の青年の家(勤労青少年ホーム)の運営を順次受託。2001年4月、市内7カ所の青年の家を青少年活動センターとして再編し、現在活動しています。



ユース・サービスってなに？

<http://www.ys-kyoto.org>

(財)京都市ユースサービス協会

〒604-8147

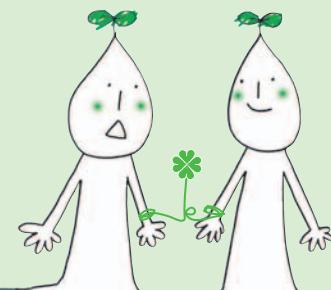
京都市中京区東洞院通六角下ル御射山町262
京都市中京青少年活動センター内

TEL (075) 213-3681

FAX (075) 231-1231

Email k.y.serv@kyoto.email.ne.jp

URL <http://www.ys-kyoto.org>



(財)京都市ユースサービス協会

若者の力が社会を創る

地域・社会に自ら積極的に関わるよう若者を支援し、若者と協働する地域・社会を創る

健全育成からユース・サービスへ

ユース・サービスの理念

子どもから責任ある大人へと成長する青少年を「支援」していくということです。「支援」とは、青少年が、家庭、学校、地域社会、職場及び青少年の自主的な活動の場面といったあらゆる活動場面への参加を通じて、社会と交わり、青少年自身の興味や関心を豊かにし、青少年が必要とした場合、助言、情報、または多様な人的・物的資源が得られるような「機会」を提供しようとするものです。

自発的な集団への参加を通して、充実感を体験し、自己の可能性にチャレンジすること、それは青少年の自主的で創造的な活動を刺激するような方法で青少年の心身を発達させ、その人格的成长を図ることを意味しています。



協会の活動

1 若者が本来持っている力を発揮する場づくり
自分の本来持っている力を、損なわれることなく伸ばしていくような機会を提供します。

2 若者が課題を乗り越えていくための支援
問題を抱えた時や、必要を感じた時に、課題を自ら乗り越え、解決していくための力を獲得できるような支援をします。

3 若者の市民参加、地域社会への参加を促す
青少年が市民社会の一員として参画し、役割を担っていくための力をつける機会を提供します。

4 ユース・サービスの活動を広く知ってもらうための活動
これらの課題に対応するユース・サービスの事業が、社会的な認知を拡大していくための活動を行います。

支援する

- 青少年の社会参加促進事業
- プレイパーク事業
- 青少年の居場所事業
- 相談事業
- 就労支援事業
- 場所提供

伝える

- 情報収集・提供・広報事業
- ユース・サービスの啓発

つなげる

- 指導者・ボランティア養成事業
- 地域参加のためのリーダーバンク事業
- 青少年の交流促進事業
- 資源を活かした協力・共催事業

深める

- 調査・研究
- 研修事業

市内7カ所の青少年活動センターの運営

- 北 青少年活動センター
- 中京青少年活動センター
- 東山青少年活動センター
- 山科青少年活動センター
- 下京青少年活動センター
- 南 青少年活動センター
- 伏見青少年活動センター